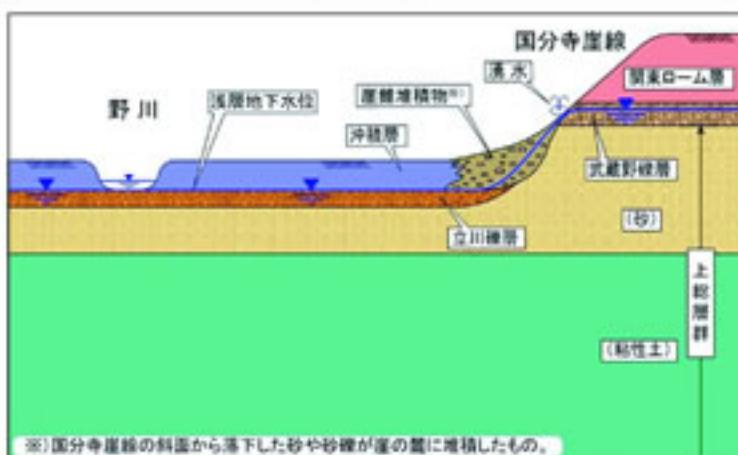


地質と地下水の状況

地下水は、立川疊層や武藏野疊層の中に存在しており、浅層地下水と表現しています。また、上総層群中の砂層にも地下水が存在しています。

国分寺崖線の武藏野疊層中の浅層地下水は、野川の方向に流れおり崖線部で地表面に湧水として湧出するとともに、喜多見地区周辺でも湧水として湧出しています。

地質断面図



浅層地下水の移動方向(冬季観測データより)



● 外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置しない場合)

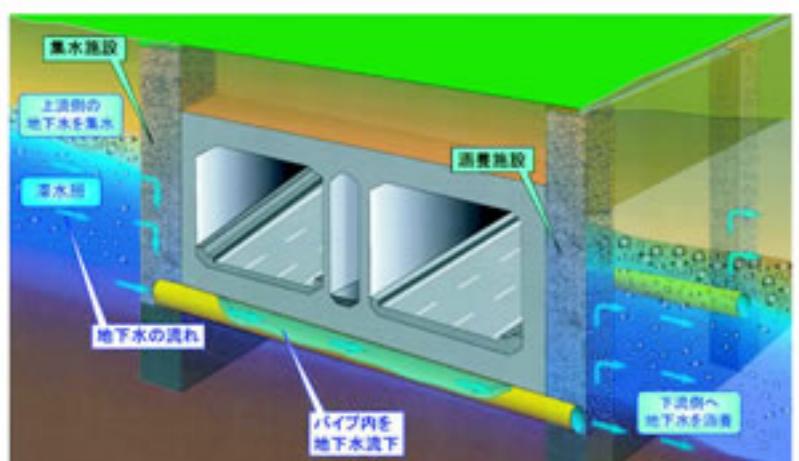
東名高速とのジャンクション部では、工事(開削等)によって、周辺の地下水の流れや野川の流量、周辺の湧水量等に影響を与える可能性があります。

● 外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置する場合)

インターチェンジを設置しない場合より、工事(開削等)区間が長くなり、より広い範囲で周辺の地下水の流れや野川の流量、周辺の湧水量等に影響を与える可能性があります。

地下水への影響が予測される場合には、適切な対策工法を検討し実施します。

地下水対策工法の事例



地下構造物の建設等により、地下水の流れを阻害する場合に、上流側の地下水を集めて、通水施設を通じ、下流側へ流れるようにして、地下水の流れを確保します。

動物、植物、生態系の状況

東名高速とのジャンクション周辺から国道20号周辺までの区間において、全体として約2,300種の動植物が確認されました。そのうち、注目される種^{*}として118種が確認されています。

動植物の確認種数及び注目される種

分類群	確認されたすべての種数	そのうち注目される種
哺乳類	5科5種	該当する種はありません
鳥類	31科78種	チュウサギ、オオタカ、ヒメアマツバメ、アオグラ等(14科25種)
両生類	2科3種	アズマヒキガエル、トキョウダルマガエル(2科2種)
爬虫類	6科9種	クサガメ、ヤモリ、トカゲ、シマヘビ、ヒカリ等(5科7種)
昆虫類	210科4853種	ショウジョウトンボ、ヤマトタマムシ、ゲンジボタル等(18科23種)
魚類	7科15種	ナマズ、メダカ(2科2種)
底生動物	74科189種	アオイトトンボ、オニヤンマ、ゲンジボタル等(5科6種)
クモ類	20科120種	キシノウエトタデグモ、マネキグモ、オナガグモ等(5科5種)
陸産貝類	15科35種	該当する種はありません
土壤動物	25科46種	該当する種はありません
植物相	124科4677種	アスカイノデ、コギシギシ、ハリギリ、キンラン等(32科48種)
蘚苔類	19科37種	ヒナノハイゴケ(1科1種)
地衣類	10科16種	該当する種はありません
菌類	26科77種	該当する種はありません
付着藻類	28科134種	該当する種はありません

*「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)等で指定されている種を注目される種としました。

観測位置図



● 外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置しない場合)

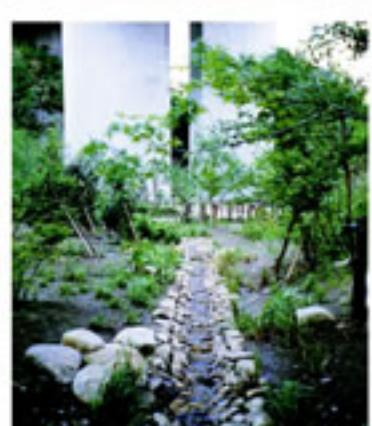
東名高速とのジャンクション部では、工事(開削等)を行なう区間で動植物の生息環境に影響を与える可能性があります。また、工事により地下水に影響を与えた場合、野川周辺の生息環境にも影響を与える可能性があります。

● 外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置する場合)

インターチェンジを設置しない場合より、工事(開削等)区間が長くなり、より広い範囲で動植物の生息環境に影響を与える可能性があります。

動物、植物、生態系への影響を予測される場合には、適切な保全対策を検討します。

動物、植物、生態系の保全対策の事例



■高架橋の下や森との間を、動物や植物が生息する空間「ビオトープ」として、自然な状態を創出した例です。(横浜横須賀道路)



■生物への光の影響を抑えるために、灯具にルーバーを設置した例です。(東関道)

出典)道路環境研究所エコロード検討委員会:自然との共生をめざす道づくり エコロード・ハンドブック, 1996

大深度地下構造を想定していますが、ジャンクションやインターチェンジ等で地上部となる区間では、景観への影響を今後検討する必要があります。

周辺景観の主な状況

地形的な特徴としては、野川沿いに低地が分布し、野川の左岸側に国分寺崖線があります。

主な緑地としては、次大夫堀公園、野川の護岸や河川敷、きたみふれあい公園があります。また、国分寺崖線には樹林が分布しており、世田谷通りには街路樹が植樹されています。

土地利用は、東名高速道路周辺に耕作地が分布するほか、住宅地となっています。

現況の状況(東名高速とのジャンクション周辺)



(野川より東名高速方向を望む)

現況の状況(野川周辺)



(羅追橋より野川下流方向を望む)

外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置しない場合)

東名高速とのジャンクション部で地上部となる区間や、換気所の設置により、眺望景観が変化する地域があります。

外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置する場合)

東名高速とのジャンクション部の他、世田谷通りインターチェンジの出入り口で地上部となる区間では、眺望景観が変化する地域があります。

東名高速とのジャンクション部、世田谷通りインターチェンジ部で地上部となる区間や、換気所については、眺望景観の変化を少なくするために、デザインや色彩等の環境保全措置を講じて、周辺景観との調和を図ってまいります。

景観に配慮した事例 1



換気所の形状や色彩を検討し、都市景観との調和に配慮した例です。

国道20号
新宿御苑トンネル
新宿御苑換気所

景観に配慮した事例 2



橋梁の形状や色彩を検討し、周辺環境との調和に配慮した例です。

東名高速
横浜青葉インターチェンジ

史跡・文化財の状況

区指定の史跡として砧中学校四号墳、区指定の建造物として大藏氷川神社本殿並びに棟札があるほか、次大夫堀公園民家園内には江戸時代後期の古民家が移築復元されています。

遺跡(埋蔵文化財包蔵地)としては、国分寺崖線付近で多くの遺跡が確認されています。

史跡文化財及び遺跡(埋蔵文化財)の分布状況



史跡文化財一覧

No.	名称
10	砧中学校四号墳
11	旧加藤家住宅主屋
12	旧秋山家住宅土蔵
13	旧谷間家表門
14	旧安藤家住宅
15	大藏氷川神社本殿並びに棟札
16	旧城田家住宅主屋

遺跡(埋蔵文化財)一覧

No.	遺跡名	No.	遺跡名
1	宇奈根 本村	21	砧中学校古墳群1号墳
2	殿山	22	砧中学校古墳群2号墳
3	大藏 錦跡	23	砧中学校古墳群3号墳
4	殿山古墳群1号墳	24	砧中学校古墳群4号墳
5	殿山古墳群2号墳(消滅)	25	砧中学校古墳群5号墳
6	殿山古墳群3号墳	26	砧中学校古墳群6号墳
7	殿山古墳群4号墳	27	砧中学校古墳群7号墳
8	殿山古墳群5号墳	28	砧中学校古墳群8号墳
9	殿山古墳群6号墳(消滅)	29	砧中学校遺跡
10	殿山古墳群7号墳(消滅)	30	砧小学校前横穴墓群
11	殿山古墳群8号墳(大井原)	31	下神明
12	殿山古墳群9号墳	32	中神明横穴墓群
13	田圃	33	喜多見中通
14	下野田山	34	中神明
15	下野田1号墳	35	中野田
16	下野田2号墳	36	不動橋横穴墓群
17	喜多見清水	37	不動橋・不動板
18	下野田	38	上神明
19	喜留多遺跡	39	上神明横穴墓群
20	下野田不動遺跡	40	中の島

外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置しない場合)

東名高速とのジャンクション部では、工事(開削等)により、埋蔵文化財包蔵地が一部改変されます。

外環整備時(世田谷通りにインターチェンジを設置する場合)

東名高速とのジャンクション部の他、世田谷通りインターチェンジ付近では、埋蔵文化財包蔵地が一部改変されます。

埋蔵文化財包蔵地が改変される部分については、「文化財保護法」等に基づき、あらかじめ関係機関と協議等必要な手続きを行い、発掘調査、記録保存等の適切な措置を講じます。また、埋蔵文化財が新たに発見された場合は、速やかに「文化財保護法」等に基づき、適切な措置を講じることとします。